



出前授業による環境教育の実施

～地域の子どもたちに向けた環境教育を通じて持続可能な社会に貢献する～

JR東日本では、持続可能な社会に貢献するため、地域の子どもたちに、「環境問題」や「社会とのつながり」を理解してもらうための環境教育プログラム(以下、出前授業)を2009年度から実施しています。2017年度には、これまでの取組みが評価され、経済産業省主催の「キャリア教育アワード」で優秀賞を受賞しました。

鉄道を題材にした2つのオリジナルプログラム

学校のニーズにお応えできるよう教育関係者と連携し、鉄道という公共インフラを題材に環境やくらしと関連付けたJR東日本オリジナルのプログラムを実施しています。

プログラム1: 環境にやさしい鉄道の秘密を探れ!

社会インフラとしての「鉄道会社の役割」を理解し、その役割を果たしながら、鉄道会社が環境に対してどのような取組みを行っているかについて、列車や駅に対する工夫を探しながら考えるプログラムです。



プログラム2: 情報と鉄道ネットワークの秘密を探れ!

鉄道を題材に、情報ネットワークを有効に活用した輸送サービスの提供について、グラフや写真の分析を通じて考えるプログラムです。異常時の情報のやり取りを体験し、お客さまにわかりやすいご案内放送を考えるグループワークも行います。

社員が講師を務め地域に根差した授業を展開

東日本エリアにある12支社ごとに前出授業担当者を配置し、地域のニーズに合わせた授業を実施できるよう努めています。

また、駅、車掌、運転士、メンテナンス等の現役もしくは経験者の社員が講師を務め、自身の普段の仕事やキャリア等と関連付けながら具体的に説明しています。

授業は小学校の教室等で行うことを基本としていますが、2018年1月には、実際に走行している省エネ車両を教室にして授業を実施するなど、当社の環境への取組みをより身近に感じていただけるような工夫もしています。

【事例紹介】 烏山線の列車内で、地元小学生に出前授業を実施

2018年1月に、烏山線の蓄電池駆動電車EV-E301系(ACCUM(アキュム))車内で地元の烏山線沿線の小学生(約90名)に授業を行いました。

当日は、小学生が乗車する滝駅でJR東日本の列車や駅における環境活動を紹介した後、実際に烏山駅まで体験乗車をしていただきました。烏山駅到着後は、運転士や車両メンテナンス社員が車両や充電設備の説明を行い、ACCUMの環境技術を間近で見ただきながら当社の環境に関する取組みへの理解を深めていただきました。



ACCUMでの授業の様子

参加した児童からは、「環境に優しい電車が地元を走っていることを嬉しく思います。また乗ってみたいです」などの感想をいただきました。

VOICE



大宮支社
宇都宮地区センター 事務主務
武政 一規

今回の出前授業には、運営スタッフとして参加しました。児童の皆さまからさまざまな質問をいただき、お答えすると嬉しそうな反応をしてくださり、私も嬉しくなりました。また、地元の烏山線走るACCUMの実車を使っている授業ということもあり、児童の皆さまの関心も非常に高く、講師である社員の説明を真剣に聴き入る表情が印象的でした。

私自身も、今回の出前授業で、相手にわかりやすく説明することの難しさと楽しさを体験することができ、JR東日本の社員として、環境問題に取り組む重要性を再認識しました。今後も、より一層省エネとコストダウンを意識して業務を行っていきます。



大宮支社
宇都宮運転所 助役
木田 力

今回、ACCUMの運転を担当している乗務員職場として出前授業に参加しました。地域のお子さまたちの笑顔を描きながら、環境にやさしいACCUMについて楽しく分かりやすく紹介するために、職場でエコ活動を担当している社員と知恵を出し合いながら身近なものを題材にしたクイズを作成しました。出前授業当日は、思い描いたとおりの笑顔に溢れ、「環境にやさしいACCUMをたくさん利用したい」等の感想をいただきました。私たちが環境問題について改めて考えるとともに、地域とのつながりを感じることができた貴重な経験となりました。今後は、この経験を活かし、職場独自の出前授業に取り組んでいきたいと考えています。



大宮支社
小山車両センター 車両係
生井 充彦

今回の出前授業にはACCUMの車両メンテナンス担当職場の社員として参加しました。ACCUMの仕組みに関する手作りの紙芝居と実際の車両を使用し、JR東日本の車両が省エネ技術等を搭載して環境問題に取り組んでいることをお伝えしました。ACCUMを題材にした環境を楽しく学べる授業を通じて、普段仕事では接することができない地域のお子さまと交流し、笑顔に接することができ、大変貴重な経験となりました。今後の業務においても、お客さま第一であることを強く認識し、さらに高品質な車両をお客さまへ提供できるよう取り組んでいきます。

関連記事についてはP86をご参照ください